



十二月二十一日(金)発表会を実施しました  
(Project-Based Learning)  
実本校では一学年が総合的な実践で考  
えし、この日は各組が解説を行いました。  
題「Dolku」と株式会社は「子ども  
のためのプログラミング教材」を開発す  
る目的で、新規事業として取り組んでい  
ます。この発表は、これまでの学習を総  
結するもので、生徒たちは各自の役割を  
分担して発表を行いました。発表は、各組  
が開発した教材の紹介や、その特徴や利  
用法などをわかりやすく説明する内容とな  
っていました。また、各組は、開発過程  
中の苦労や、達成感なども語りました。発  
表後は、観客からの質問や意見交換の場  
面があり、活発な交流が行われました。



# 地域の企業の課題解決！ ～PBL授業学年発表会～



西崎中学校  
校長 宮城 義隆

校長の独り言⑩

赤鼻のトナカイ

「真っ赤なお鼻の～♪トナカイさんは♪いつ  
もみんなの笑いもの～♪」

先日、孫ちゃんが家に遊びに来たときに、クリスマスの定番ソングである「赤鼻のトナカイ」をじいじいのために、世界一可愛らしい歌声で、元気いっぱいに歌ってくれた。その歌詞の中に、素敵なりフレーミングがあることに改めて気付かされた。そのトナカイにとってコンプレックスであった赤い鼻が、夜道を照らすライトとして役に立っていると言われ、一瞬にしてつらい涙が喜びに変わったのだから…

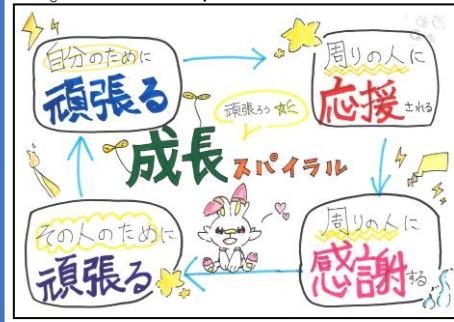
私も小学校低学年の頃、後頭部がとがっていたことから「がっぽい」と呼ばれ、からかわれていた時期があった。そのことを知つてか知らずか、近くに住んでいた大好きな親戚のおじさんは、私が遊びに行くたびに、私の頭を撫でながら「お前の頭には脳みそがいっぱい詰まっている。でいきや～ないんどお～」と励ましたくれた。言われ続けたその言葉は、「俺はできる」という根拠の無い自信の源泉となり、受験や様々なことに挑戦する際の大きな原動力となり、私を突き動かしてくれたと思っている。

「落ち着きがない」⇒「好奇心旺盛」や「おとなしい」⇒「謙虚で思慮深い」など、見方を変えれば、短所と思っていることも長所になります。人と関わるときにその視点を持っていれば、短所ばかり指摘され、自信を失っている人に元気や勇気を与え、人生を前向きに歩んでいくきっかけを与えるられるのではないだろうか。

私もそのサンタさんのように、人の「影」に「光」を与える人になりたいのだ…



十二月一日  
た「成長ス  
んと生徒会  
ポスターを  
作成し、そ  
して校内に  
いたるところに掲示し  
てくれてい  
ます。生徒  
会の皆さん、  
本当にあり  
がとうござ  
います。西  
中最高です。



## 修学旅行班別自主研修発表会

生徒会に感謝！

すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして